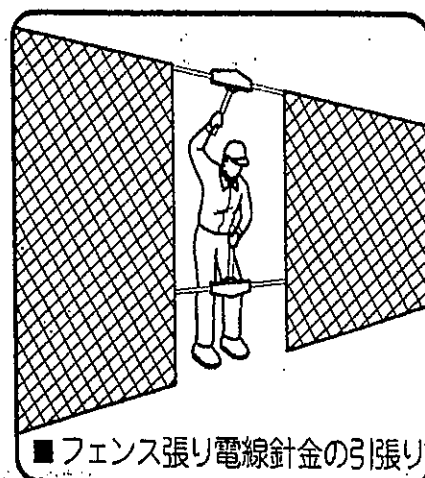
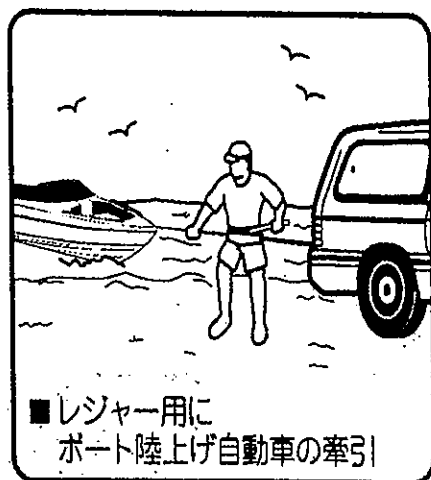


ハンドプーラー SHP-1000 取扱説明書

横引き専用

⚠ この商品は横引き用ですので吊り具や荷締め具としては使用しないで下さい。



ご使用上の注意

1. 規定以上の荷重を加え使用しないで下さい。
2. ワイヤロープに傷があったり、ねじれ、もつれた状態で使用しないで下さい。
3. 本体に変形など発見したら使用しないで下さい。
4. 本機は通常の力で操作し、特別な力を加えた状態で操作しないで下さい。
5. ワイヤロープの巻数が3巻き以下の長さで使用しないで下さい。

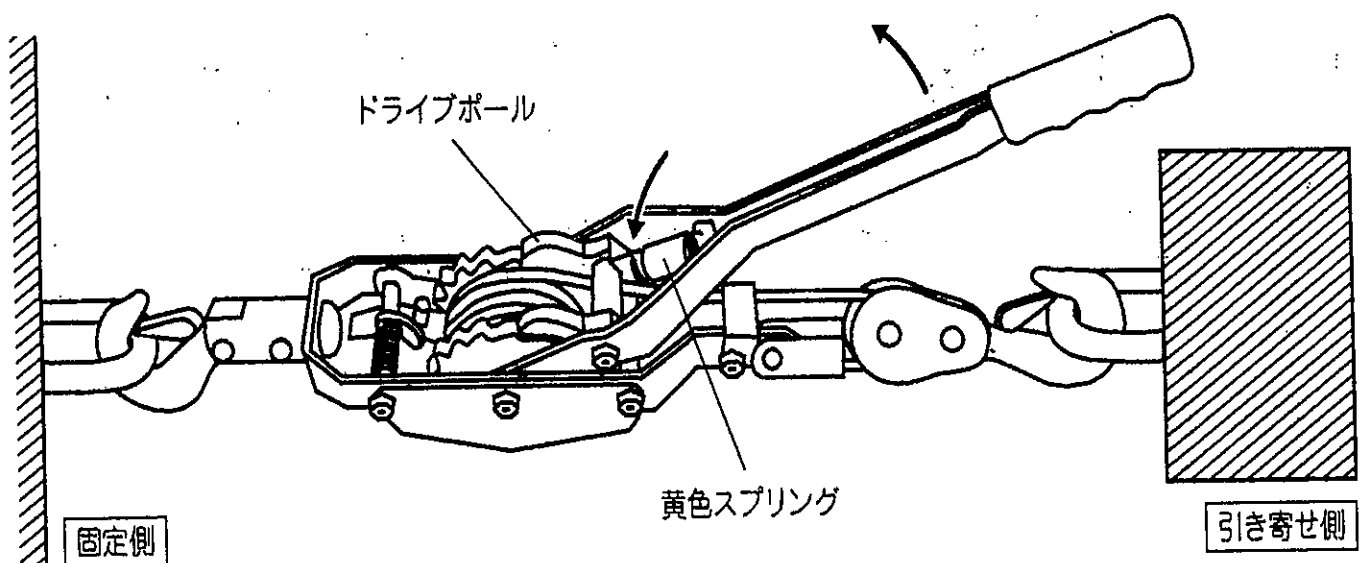
引っ張り・引き寄せの時

フックを引き寄せる物にひっかける。

下図黄色スプリングを下に押し、ハンドルを開閉連続操作すると
引っ張りや引き寄せができます。

注意

1. フックは必ず荷重に耐えられる物にひっかけて下さい。
2. 規定以上の荷重を加え使用しないで下さい。
3. 本機は通常力で操作し、特別な力を加えて操作をしないで下さい。
4. ハンドルに30kgf以上の力をかけないで下さい。



本機をご使用中、ワイヤーの破断やゆるみ、移動物の突然の動き、固定物の破壊や落下、荷くずれ等、状況によっては不測の事態も起こり得ます。
周囲の状況をご自身で判断し、最も安全な方法をご選択の上、ご利用下さい。

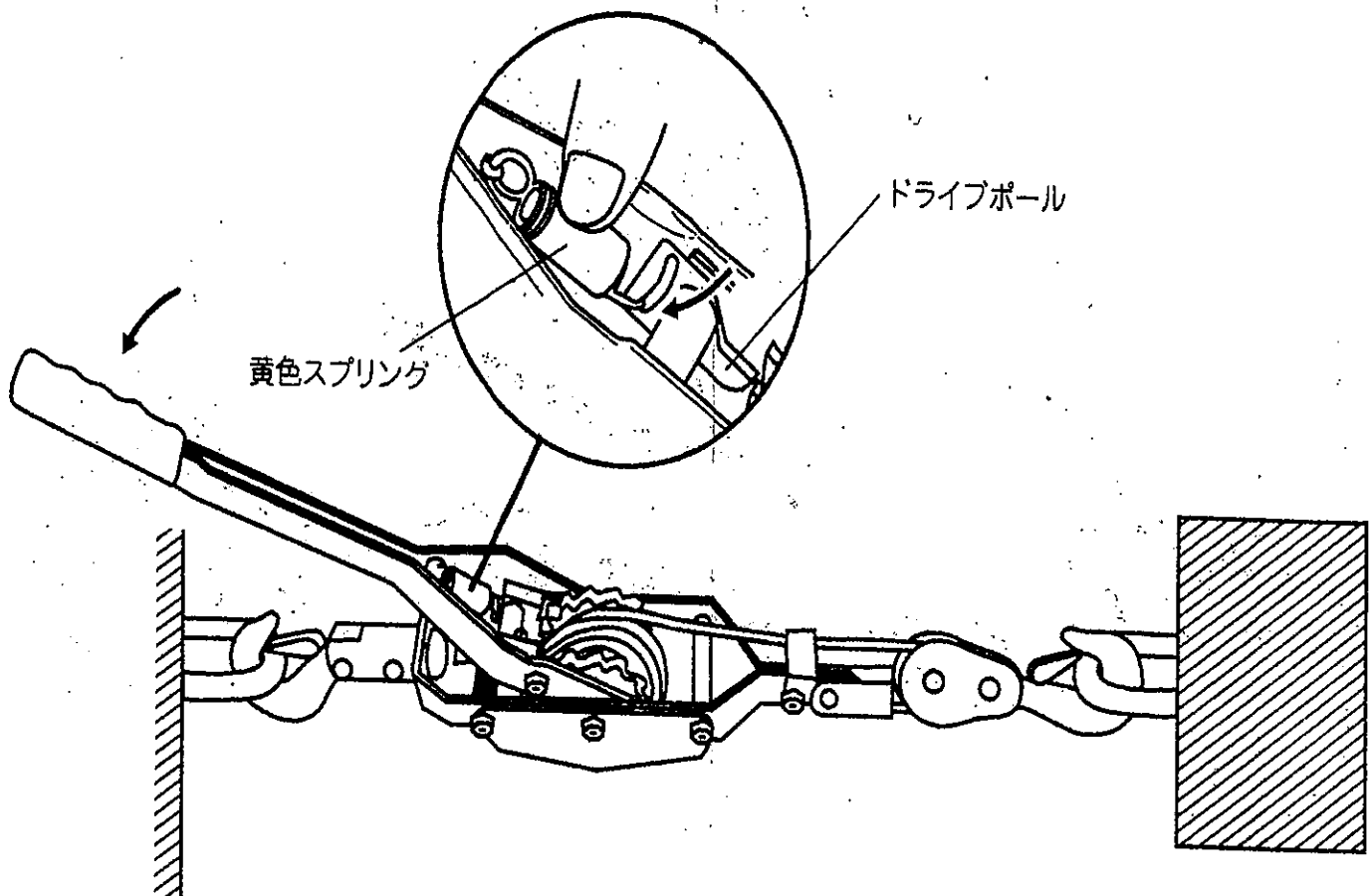
荷重をゆるめる時

黄色スプリングを上位置に戻し、ドライブボールが歯止め当たる様ハンドルを開き、ハンドルの開閉操作を続けると歯止めが1段ずつ開閉運動しワイヤーロープが少しずつゆるみます。

ワイヤーロープの負荷が完全にゆるめられた後、歯止めを手で下から押し上げワイヤーロープを引き出す。

注意

1. 負荷がかかった状態で、歯止めを押し上げることは極めて危険です。



ワイヤーを引き出す時

下図Aの黄色スプリングを上の方位置に移し、ドライブボールをギアから外す。
図Bの歯止めを下から押し上げワイヤーロープを引き出す。

注意

1. ワイヤーロープにねじれ、もつれのある場合、正しく直し使用して下さい。
2. ワイヤーロープのドラム内の巻数3巻き以下の長さで使用しないで下さい。
3. ワイヤーロープは負荷のかかっていない状態の時に引き出して下さい。

